

GSX

GLOBAL
SECURITY
EXPERTS

2023年3月期 第3四半期
決算説明レポート（書き起こし）

2023年3月期 第3四半期 決算説明レポート

- 2023年3月期 第3四半期決算概要
- 2023年3月期 業績予想
- 株主還元
- 経営トピックス
- 中期経営計画
- ESGの取組み
- 事業内容
- Appendix

Summary

■ 2023年3月期 第3四半期 業績ハイライト

前年同期比 大幅増収増益 第3四半期累計期間で過去最高額を更新
通期業績予想に対して、売上高 進捗率74.5%、営業利益 進捗率80.7%

人的資本への投資（期末賞与の引当、株式給付信託（J-ESOP）等）などを計上しつつも
営業利益は前年同期比64%増

■ 2023年3月期 業績予想

売上高拡大は継続、利益率の向上を最重要視し、経営基盤を強固に

売上高 54億円（前期比+23.0%） 営業利益 7億円（前期比+59.3%） 営業利益率13%
全事業がまんべんなく伸長、教育事業の拡大により利益成長が加速

■ 株主還元

2023年3月期の配当予想を発表 1株当たり配当額は13円を予定

必要な内部留保を確保しながら安定した配当を継続

IRサイト

当社HPのIRサイトでは、株主・投資家の皆様へ積極的に情報を発信しております。ぜひご覧ください。
<https://www.gsx.co.jp/ir/>





2023年3月期第3四半期
決算説明資料

グローバルセキュリティエキスパート株式会社 4417
2023年1月

本日はご視聴いただきまして、ありがとうございます。

グローバルセキュリティエキスパート株式会社
代表取締役社長の青柳です。

2023年3月期第3四半期決算説明をいたします。
よろしくお願いいたします。



Agenda		GSX GLOBAL SECURITY EXPERTS
1	2023年3月期 第3四半期決算概要	P 3
2	2023年3月期 業績予想	P 15
3	株主還元	P 18
4	経営トピックス	P 20
5	中期経営計画	P 25
6	ESGの取組み	P 32
7	事業内容	P 34
8	Appendix	P 51

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 2

本日はこのようなアジェンダでお話をいたします。

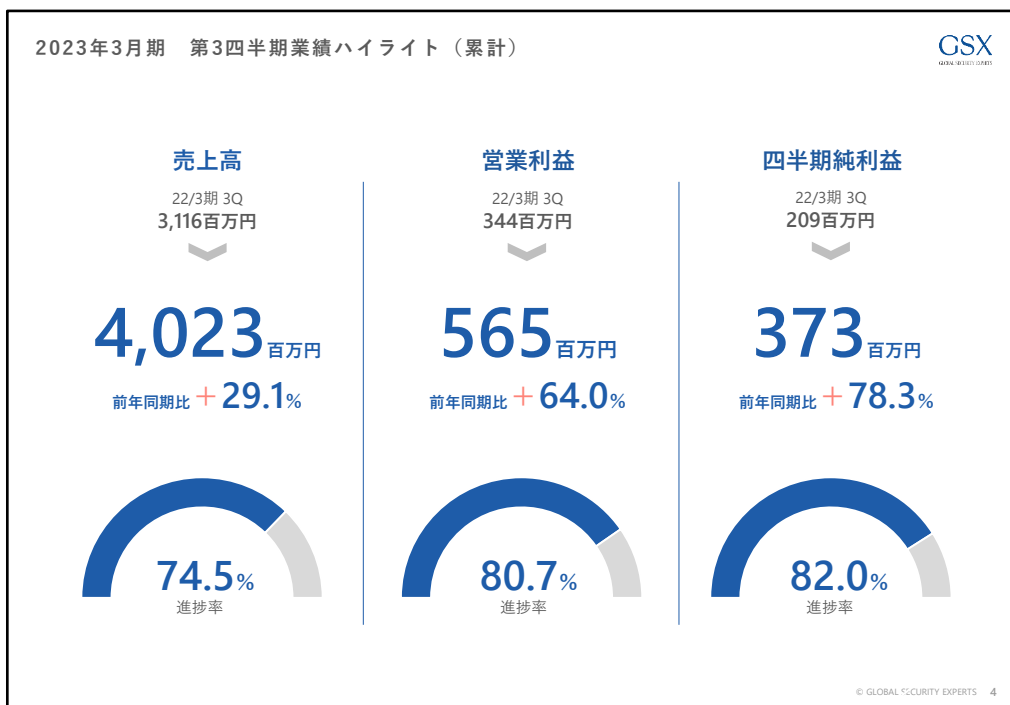




2023年3月期 第3四半期決算概要

2023年3月期 第3四半期の決算概要をご説明いたします。





売上高は前年同期比29.1%増の40億2,300万円、
営業利益は前年同期比64.0%増の5億6,500万円、
四半期純利益は前年同期比78.3%増の3億7,300万円と順調に推移をしております。

また、年間目標の進捗に関しても問題なく推移しております。



2023年3月期 第3四半期業績ハイライト GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

- ✔ 前年同期比大幅増収増益 第3四半期累計期間で過去最高額を更新
- ✔ 増収効果と利益率向上により、期末賞与引当、J-ESOP関連コスト等を計上しつつも営業利益は前年同期比+64.0%
- ✔ 通期業績予想に対して売上高進捗率74.5% 営業利益進捗率80.7%
売上高・利益ともに前年同期を上回る進捗率
- ✔ 中堅・中小企業のインシデント[※]多発によりセキュリティソリューション事業が引き続き伸長
- ✔ IT企業・Slerにおけるセキュリティ人材育成ニーズは引き続き旺盛

※インシデント：マルウェアやウイルス感染による情報漏えい、システムロックやWEBサイト改ざんによる情報漏えいなどの恐れ

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 5

2023年3月期 第3四半期業績ハイライトです。

前年同期比大幅増収増益、第3四半期累計も過去最高額を更新しています。

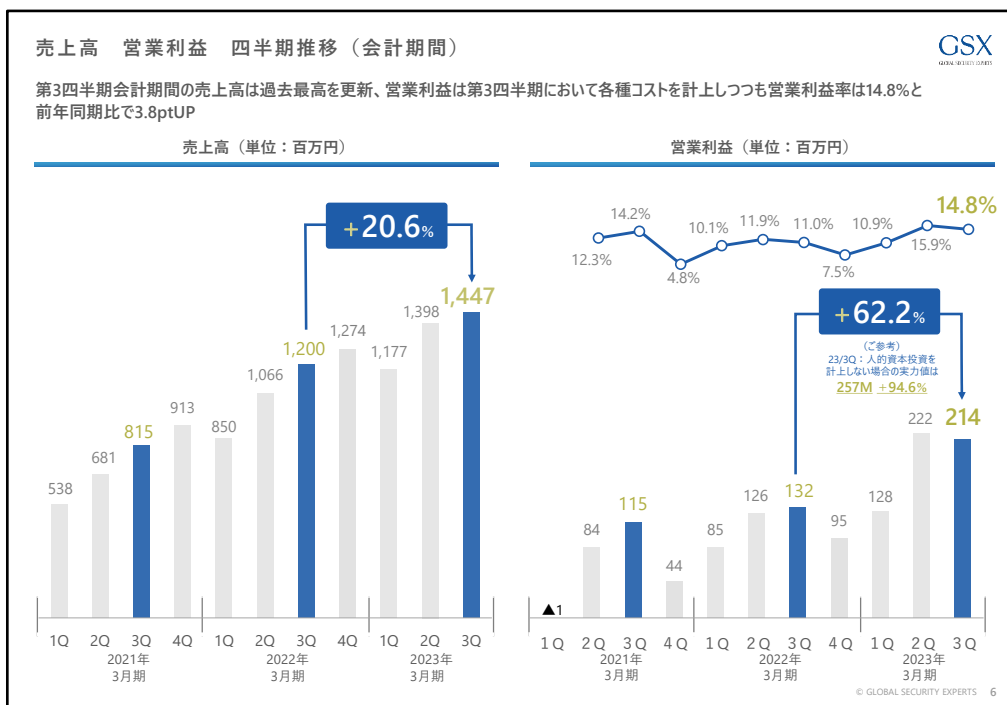
また増収効果、利益率向上により、期末賞与の引き当てや、株式給付信託（J-ESOP）等のコストを計上しつつも、営業利益は前年同期比64%増という結果になりました。

通期業績予想に対しても売上高の進捗率は74.5%、営業利益の進捗率は80.7%と前年同期を大きく上回る進捗率です。

中堅・中小企業のインシデント多発によって、引き続きセキュリティソリューション事業が大きく伸長しました。

また、IT企業、Sler（システムインテグレーター）におけるセキュリティ人材育成ニーズは引き続き旺盛で上期から続く流れを継承しております。

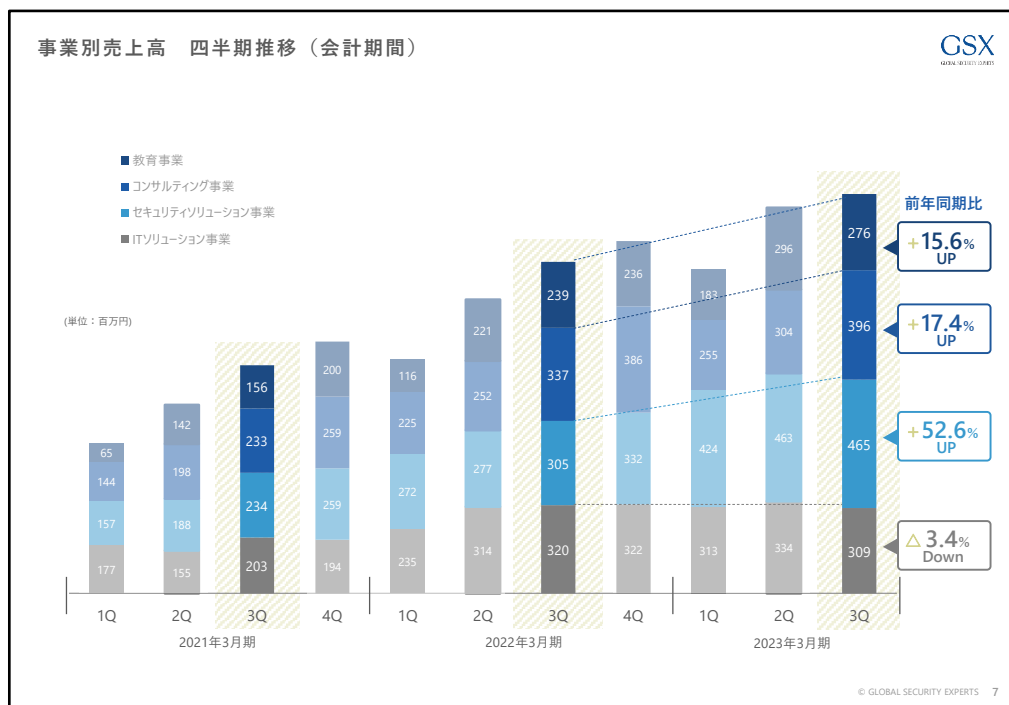




売上高と営業利益の四半期推移です。

第3四半期会計期間においても
売上高は前年同期比20.6%増、
営業利益は前年同期比62.2%増となりました。
営業利益率は前年同期比で3.8ポイント向上いたしました。





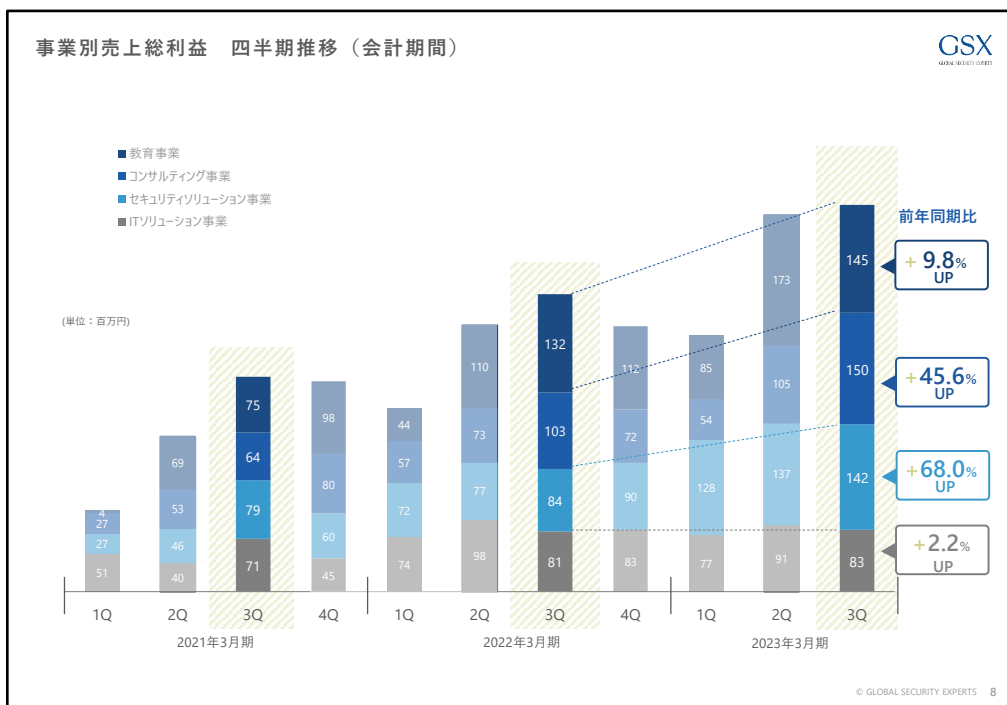
事業別売上高の四半期推移です。

セキュリティソリューション事業が大きく伸び、
コンサルティング事業・教育事業に関しても堅調に伸びております。

教育事業は、今年度のインシデント多発により、
上期からセキュリティ教育ニーズが非常に高まりました。
そのため、第2四半期と比べると金額では2,000万円ほど減っておりますが、
第3四半期は計画通りであり、前年同期比で15.6%増となりました。

コンサルティング事業も、第3四半期は計画通りです。
前年同期比で17.4%増となり、第2四半期と比べても大きく伸びております。





事業別売上総利益の四半期推移です。

セキュリティソリューション事業、コンサルティング事業が大きく伸長しました。

教育事業は、前第3四半期売上総利益が高い水準だったため、前年同期比で10%程度の伸びとなりました。

また、第2四半期と比べると、金額では3,000万円弱減っておりますが、第2四半期は、利益率の高いオンデマンドの教育講座の受注件数が増えたため、第3四半期の売上総利益も計画通りの進捗です。



事業別売上高、売上総利益 概況（会計期間）

GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

教育事業

- ✓ IT企業・Sierにおける**セキュリティ人材育成ニーズの高まり**を取り込み、
売上高・売上総利益ともに計画通り進捗

コンサルティング事業

- ✓ 中堅・中小企業におけるインシデント対応後の**コンサルティング需要は引き続き増加**、
事業の効率化が図られ、売上高・売上総利益ともに堅調に推移

セキュリティソリューション事業

- ✓ 中堅・中小企業のインシデント多発により、需要は引き続き高い水準で推移
売上高・売上総利益ともに、前年同期比で大幅に伸長

ITソリューション事業※

※事業譲受により2021/3期から開始

- ✓ コンサルティング事業・セキュリティソリューション事業との融合を推進
社内リソースを**全社業績の拡大に活用**、事業単体では前年同期並みで推移

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 9

事業別の売上高・売上総利益の概況です。

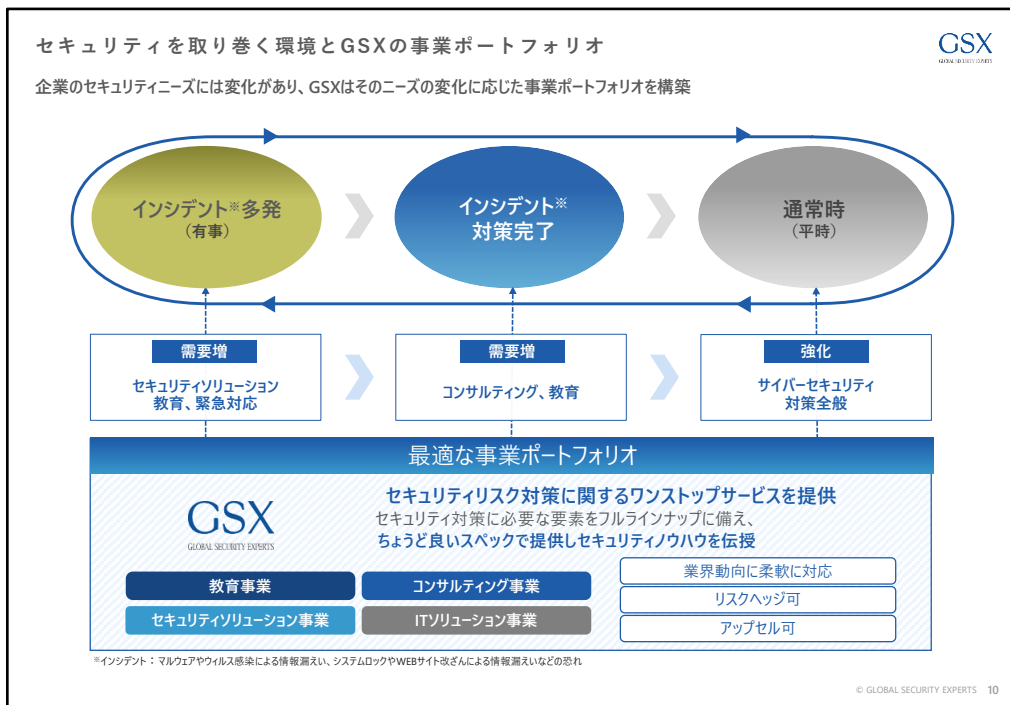
教育事業に関しては計画通り進捗しております。

コンサルティング事業に関しては、
需要が引き続き増加するなか、利益改善が進んでいることが
ポイントになっております。

セキュリティソリューション事業は
インシデントが多発したため、高い水準で伸長しております。

ITソリューション事業に関しては、
コンサルティング事業、セキュリティソリューション事業に吸収することで
全社業績に貢献してもらい、来年以降は融合した状態にいたします。
数字としては前年同期並みで推移していると考えております。





セキュリティコンサルティングビジネスの特徴でもありますが、マルウェア感染や、脆弱性を突かれたウェブサイトへのハッキングなど世の中にインシデントが多発しているときは、緊急対応やソリューション、教育のニーズが高まります。まさに昨年から現在に至るまでずっとインシデントが多い「有事」の状況です。

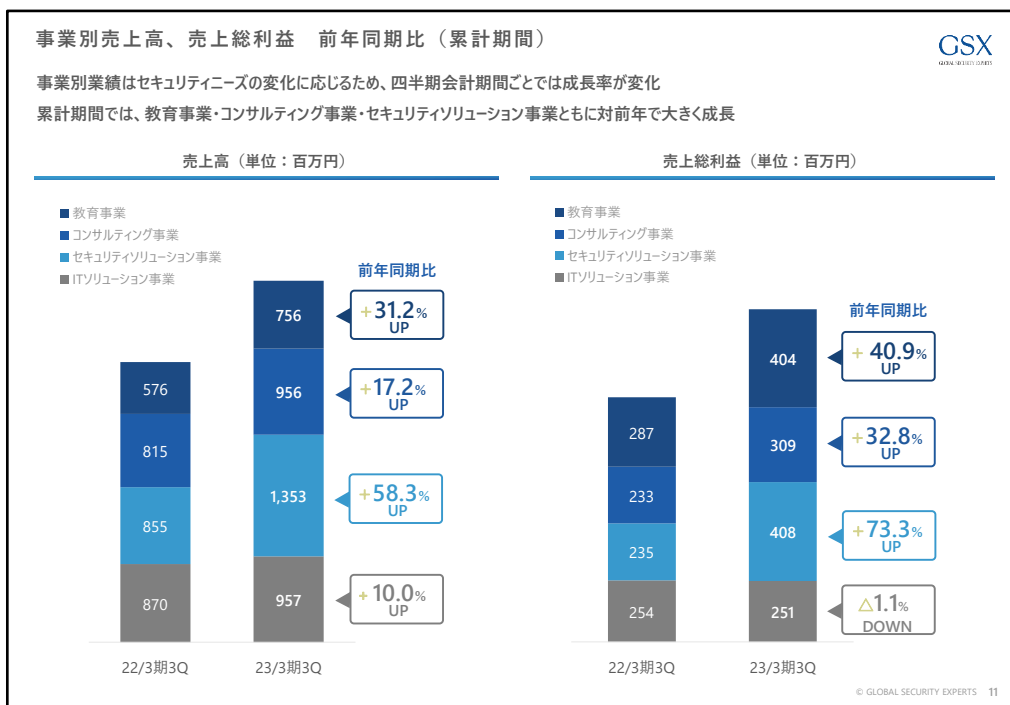
それが一旦落ち着くと、リスクの棚卸しや有事のためのチーム作りなど、コンサルティング需要が増えます。

今年度はインシデントが常に多い状況で、当社の緊急対応窓口にも毎日のように依頼が入っております。

当社は世の中のセキュリティ対策需要がどんな時期であっても事業ポートフォリオを分散し、リソースも各事業を横断し共有化できるようにしております。

どの段階のインシデントでも対応できるため、全社的に売上と利益が出せる仕組みとなっております。





事業別売上高、売上総利益の累計期間の前年同期比です。
主力3つの事業は順調に推移しております。

特に売上総利益に関しては想定を上回る伸びとなっており、
様々な施策の成果が出ているものと認識をしております。



P/L（累計期間）

売上高、営業利益ともに高成長を継続、営業利益率は14.1%と前年同期比で3ptUP

(百万円)	2022/3期 3Q実績	2023/3期 3Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	3,116	4,023	+906	+29.1%
売上総利益	991	1,312	321	+32.4%
売上高総利益率	31.8%	32.6%	+0.8pt	-
販売費・一般管理費	646	747	+100	+15.6%
販売費・一般管理費	20.7%	18.6%	-2.1%	-
営業利益	344	565	+220	+64.0%
営業利益率	11.1%	14.1%	+3.0pt	-
経常利益	327	565	+238	+72.8%
経常利益率	10.5%	14.1%	+3.6pt	-
四半期純利益	209	373	+163	+78.3%
EPS（円）	32.77*	56.02	+23.42	-

※前年度期首に株式分割が行われたと仮定しております。

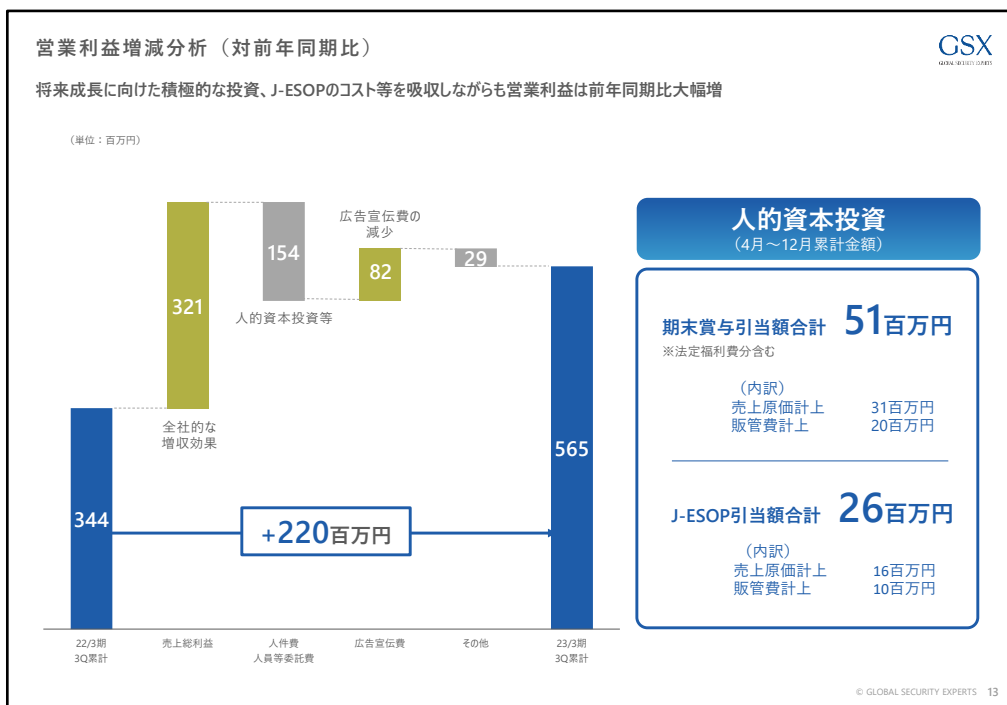
© GLOBAL SECURITY EXPERTS 12

続きましてP/Lです。

営業利益は5億6,500万円です。

営業利益率が14.1%、前年同期比で3ポイント向上しておりますので、とても順調に推移していると考えております。





営業利益の増減分析です。

期末賞与の引当てや、社員向けの業績連動株式報酬であるJ-ESOPの引当てをしても、十分な営業利益を確保できました。とても良い成績だったと考えております。



(ご参考) B/S

GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

(百万円)	2022/3期3Q	2023/3期3Q	前期比 増減	前期末比 増減率
流動資産	2,495	2,637	141	+5.7%
現金及び預金	895	829	-66	-7.4%
売掛金及び契約資産	926	1,064	138	+14.9%
その他	674	743	69	+10.4%
固定資産	404	668	263	+65.3%
有形固定資産	41	36	-4	-11.5%
無形固定資産	214	200	-14	-6.6%
投資その他の資産	148	431	282	+190.5%
資産合計	2,900	3,305	405	+14.0%
流動負債	1,392	1,587	195	+14.0%
買掛金	174	194	20	+11.6%
1年内返済予定の長期借入金	-	56	56	-
その他流動負債	1,218	1,337	118	+9.8%
固定負債	0	205	205	-
長期借入金	-	179	179	-
その他固定負債	-	26	26	-
純資産	1,507	1,512	5	+0.3%
自己資本比率	52.0%	45.7%	-6.2pt	-

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 14

バランスシートに関しましては、ご覧の通りです。





続きまして、2023年3月期業績予想についてお話をいたします。



2023年3月期の基本方針と業績予想

GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

基本方針

売上高拡大は継続、利益率の向上を最重要視し、
中長期成長を支える経営基盤を強固にする

売上高は前期比+23.0% 営業利益は前期比+59.3% 営業利益率は13%を目指す

アップセル・クロスセルで全事業をまんべんなく伸長

教育事業の拡大により利益成長が加速。販売パートナー・デリバリーパートナーを活用した効率的な運営により利益率の向上を図る

(百万円)	2022/3期 実績	2023/3期 予想	増減額	増減率
売上高	4,391	5,400	1,008	+23.0%
営業利益	439	701	261	+59.3%
営業利益率	10.0%	13.0%	+3.0pt	-
経常利益	414	700	285	+68.9%
経常利益率	9.4%	13.0%	+3.6pt	-
当期純利益	261	455	193	+74.3%
EPS (円)	40.46	67.85	27.56	-

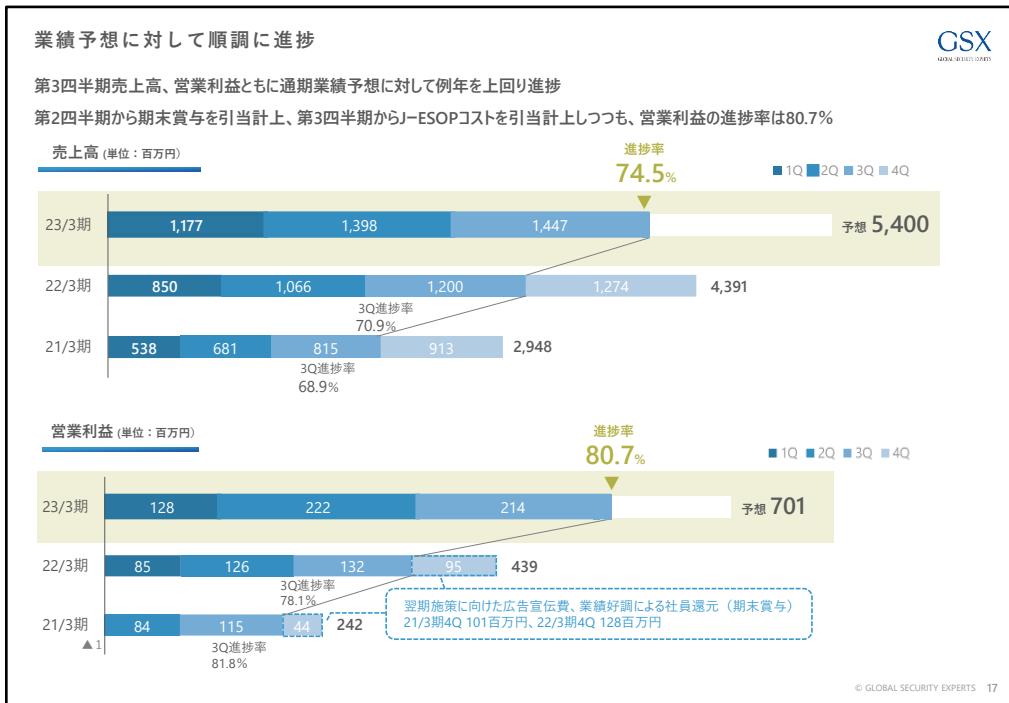
(注) 2022年11月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を実施しました。2022/3期実績及び2023/3期予想におけるEPS (円)は、当該株式分割を考慮した額を記載しています。

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 16

2023年3月期の業績予想は、売上高54億円、営業利益7億円、営業利益率13%と発表しております。

現在、良い進捗状況ですが、現時点では業績予想の修正はしていません。





通期業績予想に対しての進捗率です。

順調に推移しており、特に営業利益に関しましては、
期末賞与やJ-ESOPなどの引当てを計上したうえで
年間営業利益予想の80%を超えていますので、好調であると考えております。

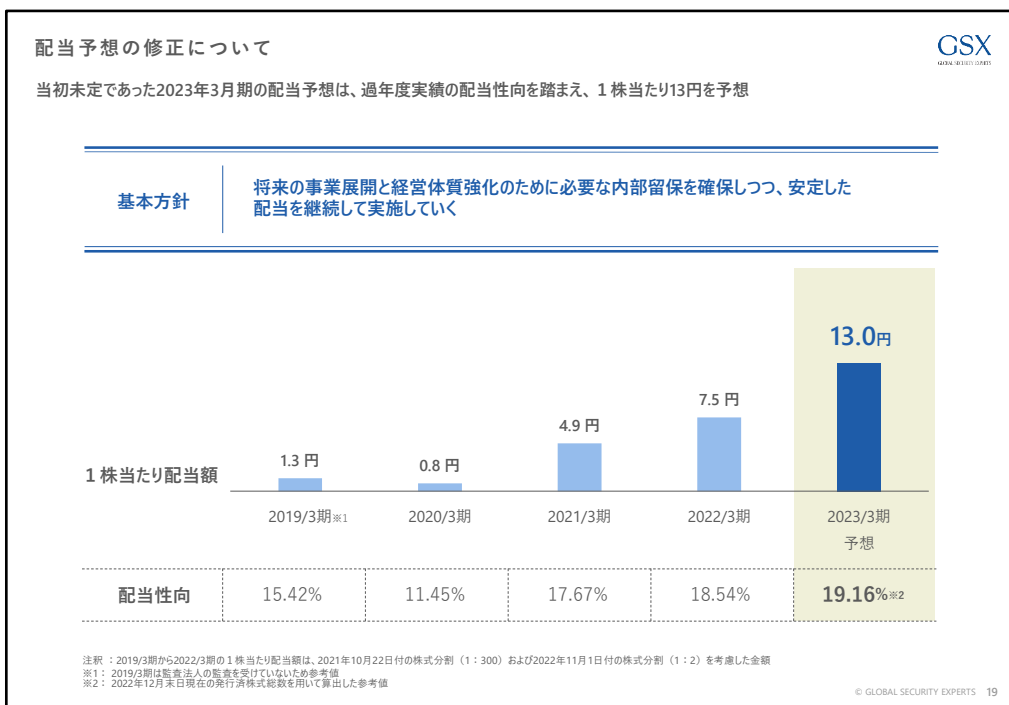
売上高の進捗率は74.5%で、ほぼ4分の3に達しております。
もともと当社は、第1四半期の売上高が低く、
第2、第3、第4四半期と緩やかに上昇していきます。
第4四半期が第3四半期並みの売り上げであれば54億円を超えますので、
現在の進捗率は順調であると捉えております。





続いて株主還元についてお話しします。





基本方針はご覧の通りで、必要な内部留保を確保しながら、安定した配当を継続して実施していきたいと考えております。

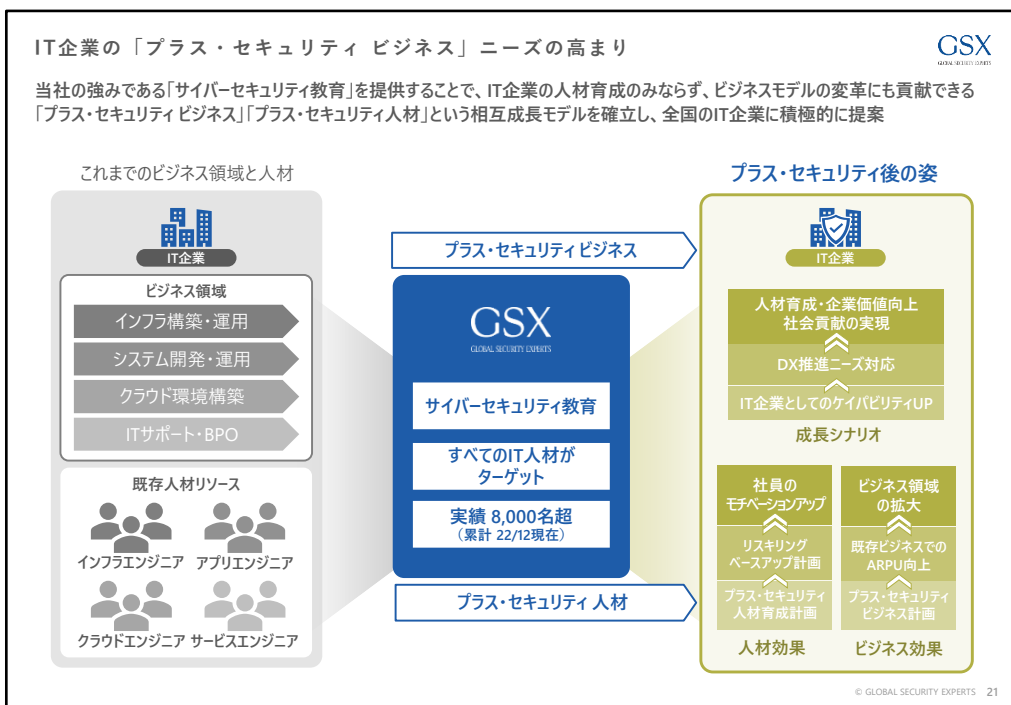
2023年3月期は配当性向19.16%となる、1株当たり配当額13円を予想しております。





経営トピックスをお話いたします。





教育事業のお客様の多くはIT企業様、Sler様です。

特にインフラエンジニア・開発エンジニア・クラウドエンジニアなどを抱えられている会社様は、エンジニアにサイバーセキュリティのノウハウ・技能を身につけてもらいたいというニーズが多くなってきました。

エンジニアのモチベーションアップや、現業の単価向上、サイバーセキュリティを考慮したビジネス領域の拡大はもちろん、IT企業としてのケイパビリティ（組織的能力）アップ、さらに、お客様が望むDXニーズへの対応など、これら企業価値の向上につながるプラス・セキュリティニーズが高まっております。

当社ではセキュリティ教育講座の受講数がとても増えており、IT企業様、Sler様の、サイバーセキュリティによって会社の価値を上げたいというニーズの高まりを実感しております。



CSIJシンポジウム「サイバーセキュリティをリスク化する時代」開催 GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

2023年1月24日にCSIJシンポジウム「サイバーセキュリティをリスク化する時代」を開催、500名超の参加申込みをいただきました

国内ではサイバーセキュリティ領域においてのセキュリティ専門人材の不足という大きな課題を抱えています。DXの広がりとともに、セキュリティの対応範囲が広がり、求められる知識や経験の幅も広がらざるを得なくなりました。本イベントではセキュリティ専門人材の育成というテーマを掲げ、政府方針に加え、企業・組織における人材育成について、育成する立場・学ぶ立場など、様々な視点から議論を展開し、サイバーセキュリティ自衛力をどのように高めていくかをお示ししました。



<CSIJについて>
サイバーセキュリティイニシアティブジャパン (CSIJ) は、日本国内の多くの企業が直面する、社会や産業構造、DX化に伴うサイバーセキュリティリスクへの対策を加速させるための任意団体です。日本の企業および社会全体のサイバーセキュリティのレベルを底上げするべく、活動を行っています。

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 22

続いて、NRIセキュアテクノロジーズ社・ラック社と共同運営をしているサイバーセキュリティイニシアティブジャパンについてご紹介します。

セキュリティコンサルティングサービスの両雄であるNRIセキュアテクノロジーズ社・ラック社と共に2022年4月1日に発足しました。業界のセキュリティコンサルティングやセキュリティ技術者教育の基準を作ることが目的としております。

サイバーセキュリティをリスクするというテーマでセミナーを開催しました。強い関心を得て、500名を超える参加お申込みをいただきました。

リスクに関して国や政府も旗を掲げています。グローバルに必要な技能取得を推奨し、そのための補助をして、結果的に日本経済の成長力を上げるというものです。

特にIT業界のリスクに関して、AIやビッグデータ、アナリストとともに、サイバーセキュリティの人材分野が対象になっており、やはりサイバーセキュリティ分野は注目を浴びているとあらためて感じております。



教育事業 EC-Council Global Awards 2022で最優秀賞を連続受賞

GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

情報セキュリティ国際認定資格試験 & 公式ハンズオントレーニングを運営する「EC-Council」が毎年発表する「EC-Council Global Awards」において、昨年に引き続き2022年の「EC-Council Training Center of The Year Award (Enterprise)」を受賞



「EC-Council Global Awards」において、2022年のエンタープライズ部門における最優秀賞「EC-Council Training Center of The Year Award (Enterprise)」を受賞しました。「EC-Council Global Awards」は、EC-Councilおよびサイバーセキュリティコミュニティ内で**最も権威のあるアワードのひとつ**で、当社が受賞した「EC-Council Training Center of The Year Award (Enterprise)」は、**世界145ヶ国の2,380を超えるトレーニングパートナーの中から、わずか3社のみ選出される**トップアワードです。

当社は、EC-CouncilのJAPANマスターディストリビュータとしてCND（Certified Network Defender：認定ネットワークディフェンダー）、CEH（Certified Ethical Hacker：認定ホワイトハッカー）、CASE（Certified Application Security Engineer：認定アプリケーションセキュリティエンジニア）、CHFI（Computer Hacking Forensic Investigator：デジタルフォレンジック）、CCSE（Certified Cloud Security Engineer：認定クラウドセキュリティエンジニア）など、EC-Councilの各コースウェアを提供しています。

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 23

ホワイトハッカー養成講座などの教育コンテンツのメーカー（EC-Council社）の
アワードで最優秀賞を頂きました。

当社の教育講座事業は、当社オリジナルの「SecuriST」シリーズと、アメリカの
メーカーから仕入れている「EC-Council」と、大きく2つの教育講座を展開して
おります。

教育講座を販売し、トレーニングを行い、セキュリティ人材を増やしていることを
評価されEC-Council社から表彰されました。

世界中で2,380社のうち、3社が選ばれる最優秀賞ですので、
サイバーセキュリティ教育を啓蒙し、人材を増やしていくという
当社のプレゼンスがだいぶ上がってきたと考えております。



人的資本への投資 株式給付信託（J-ESOP）の導入について



従業員に対して当社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託（J-ESOP）」の導入は、今後の人材採用及び従業員のモチベーション向上に寄与し、当社の持続的な成長に資すると考えております

株式給付信託（J-ESOP）導入の目的

- 当社の株価や業績と当社の従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高める
- 従業員に当社の株式を給付し、従業員自身が株主となることで、企業価値向上に伴う株価向上が従業員の財産形成にも資するよう「人的資本への投資」の一環



株式給付信託（J-ESOP）における当社株式の取得内容

取得する株式の種類	当社普通株式
株式の取得資金として信託する金額	350,000,000円
株式の取得方法	取引所市場より取得
株式の取得期間	2022年11月下旬に取得済

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 24

当第3四半期に、従業員向け株式給付信託（J-ESOP）を導入しました。このために必要な当社株式3.5億円分を、すでに市場から取得しました。

従業員が皆で株主となり、一緒に会社を運営することで、意欲や士気が上がっていくことを期待しての施策です。





中期経営計画についてお話しいたします。





当社の今後の成長を実現する2つのビジネスです。

1つは、中堅・中小企業様向けにセキュリティサービス、コンサルティングをワンストップで提供するものです。

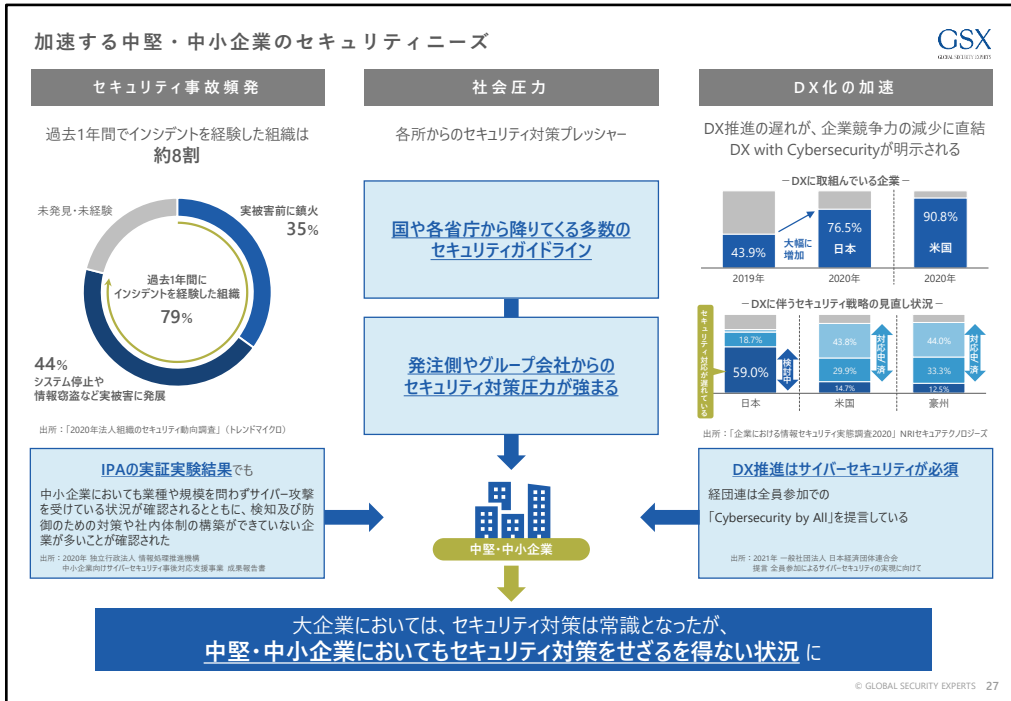
例えば、セキュリティ教育や脆弱性診断、サイバーソリューションの導入、緊急対応などです。

もう1つは、IT企業様、Sler様に対してセキュリティ教育講座を提供するものです。

明確にターゲットを設けながら
営業組織、マーケティング組織を分けてビジネス活動をしております。

この2つのビジネス両方のニーズが、とても上がっているので
当社は成長できていますし、これからも成長できる根拠だと考えております。





中堅・中小企業様のセキュリティニーズの高まりは、よくお聞きになると思います。サイバーセキュリティ事故が頻発しており、マルウェアに感染した、ウェブサーバーが攻撃を受けて個人情報が出てしまった、という話はとても多いです。数年前までは大企業様が対象となることが多かったのですが、現在は中堅・中小企業様が対象となるケースが多発しております。

また、社会的にサイバーセキュリティ対策への圧力が強まっており、金融庁や経済産業省、総務省などがガイドラインを発出しています。例えば大手の自動車メーカーが、部品を供給するサプライチェーンの会社様に対しサイバーセキュリティの対策基準リストへのチェックを要求したり期限を設けて対策を促すなどのケースも増えてきました。

これまでは大企業様がサイバーセキュリティ対策をせざるを得なかった状況が、ここ数年で、中堅・中小企業様もセキュリティ対策を迫られている状況になってきたということです。

コロナ禍でDXの導入が加速したことも、ビジネス改革の後押しとなりました。それに伴いサイバーセキュリティ対策が必須になってくるので、中堅・中小企業様のセキュリティニーズはこれからどんどん上がっていくと考えております。



加速するIT企業・Slerのセキュリティ教育ニーズ

セキュリティがITの品質のひとつに

【システム開発】
システムが完成してから脆弱性を見つけるのではなく、開発の初期工程からセキュリティ対策を踏まえることで、素早く・確実な開発ができる（セキュア開発）

【クラウドサービス】
顧客が安心して利用できる環境を提供することができる

【ITインフラ構築・運用】
情報漏洩を防ぐ、外部からの不正アクセスを防ぐといった、セキュリティ対策が必須

セキュリティでIT商材に付加価値をつける

IT企業・Slerが同業他社との差別化を図るには自社の商材にセキュリティをプラス

商材の価値向上と競争力をつける

セキュリティはDX推進に不可欠

IT企業・Slerの顧客にもDX化の波DX推進にはセキュリティが必須

営業社員・ITコンサルタントにもセキュリティの知識が必要に

GSXセキュリティ教育講座 受講者数の推移

期	受講者数
17/3期	122名
18/3期	189名
19/3期	290名
20/3期	560名
21/3期	1,299名
22/3期	2,996名

経済産業省「サイバーセキュリティ体制構築・人材確保の手引き」でも「**プラス・セキュリティ**」※人材の確保を提言

IT企業・SlerのIT人材に向けた セキュリティ教育ニーズが一気に高まっている

※「プラス・セキュリティ」：
自らの業務遂行にあたってセキュリティを意識し、必要かつ十分なセキュリティ対策を実現できる能力を身につけること、あるいは身につけている状態のこと

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 28

中堅・中小企業様のセキュリティ対策ニーズが上がっているということは中堅・中小企業様にITやSIを提供しているIT企業様・Sler様にもセキュリティ人材を増やす必要があるのは当然のことと言えます。

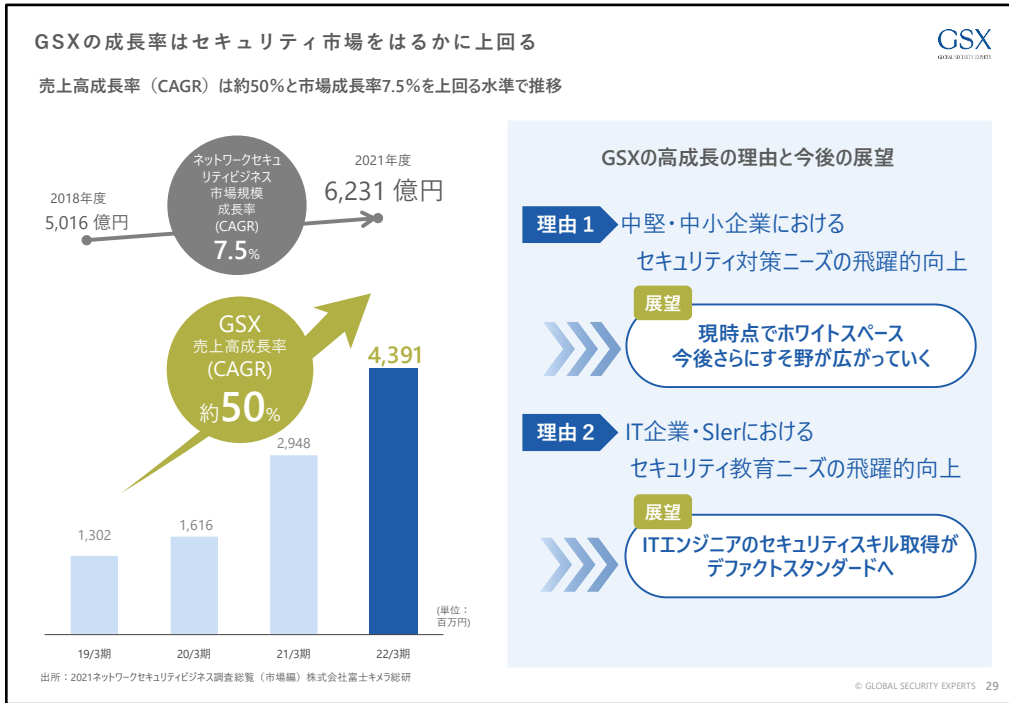
IT企業様、Sler様特有のサイバーセキュリティ教育ニーズというのがあります。例えば様々なシステムを開発していく中で、通常は、ある程度出来上がった段階で「プログラムやアプリケーションに脆弱性がないか」「セキュリティの穴がないか」などを探していきます。そこでサイバーセキュリティが分かる人材がセキュリティテストをやっていければ、手戻りがないプログラム開発、アプリケーション開発が実現できます。これはインフラ構築や設計においても同様のことがいえます。IT企業様としては、生産性が高く、手戻りがなく、納期が確実に守られIT品質が高まっていくため、IT人材に対するセキュリティ教育ニーズが高まっております。

もちろんIT商材、ITサービスにセキュリティ要素を付けて、差別化を図っていくという面もあります。

また、お客様が自分たちでDXを取り入れたいと考え、IT企業様やSler様にDXの知見を借りようとした場合、IT企業様やSler様ではセキュリティの知識が必須になります。

「プラス・セキュリティ人材の確保」の観点から、IT企業様とSler様のIT人材に向けたセキュリティ教育ニーズが一気に高まっております。





GSXの高成長の理由と今後の展望

- 理由1** 中堅・中小企業におけるセキュリティ対策ニーズの飛躍的向上
- 展望** 現時点でホワイトスペース 今後さらにすそ野が広がっていく
- 理由2** IT企業・Slerにおけるセキュリティ教育ニーズの飛躍的向上
- 展望** ITエンジニアのセキュリティスキル取得がデファクトスタンダードへ

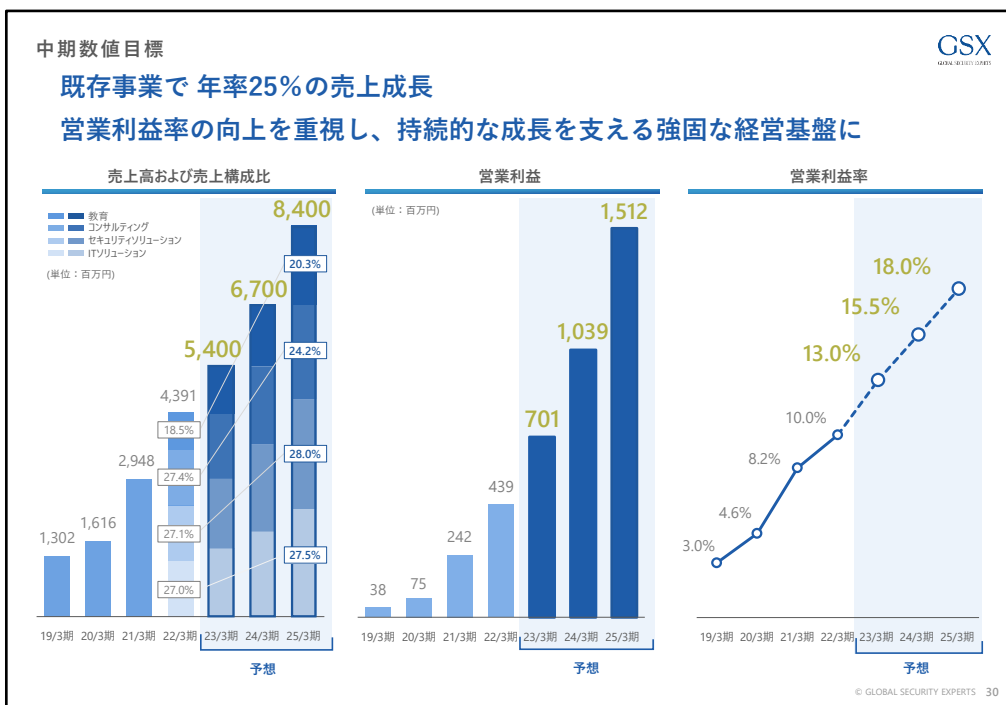
セキュリティ業界の市場成長率は7.5%から10%弱程ですが、当社の売上高成長率は50%と、大きく上回っております。

これからもこの成長は続くと思っており、理由としては2点あげられます。

1点目は、中堅・中小企業様向けセキュリティ対策を、ワンストップで提供することが現時点でホワイトスペースであり、今後、裾野がさらに広がると考えていることです。

もう1点は、IT企業様、Sler様のセキュリティ教育ニーズに関して、ITエンジニアがセキュリティスキルを取得することがデファクトスタンダード（事実上の標準）になっていくものと考えていることです。





2023年3月期を含めた既存事業での3カ年計画です。

売上高は毎年25%成長を目指しております。

重視するのは、営業利益率の向上であり、3年後の2025年3月期の目標は営業利益率18%と発表しております。

営業利益率を向上する策としては、

例えば、教育講座の提供を集合形式からオンラインに、オンラインからオンデマンド配信へと、利益率の高い方式へと変えてきております。

また、沖縄など地方のIT企業に当社がセキュリティ教育を提供したうえで、ニアショアセンターとして当社サービスの一部業務を担っていただくことで、固定人件費を膨らませずに受注キャパシティを確保しております。

さらに、サイバーセキュリティイニシアティブジャパン (CSIJ) でつくっているコンサルティングのフレームワーク、標準化、テンプレートなどを活用しながら、自動化・効率化をすすめて原価率を下げ、売上総利益率を上げ、営業利益率を上げていく施策を実行してまいります。



中期数値目標の前提

売上高

- ✓ 中堅・中小企業のセキュリティ対策ニーズは引き続き旺盛である
- ✓ セキュリティ対策に関するサービスをフルラインナップ
アップセル・クロスセルを徹底し、全事業がまんべんなく成長
- ✓ IT企業・Slerのセキュリティ人材育成ニーズは引き続き旺盛である

営業利益

売上総利益率
Up

セキュリティ教育コンテンツを拡充しながらも
オンライン・オンデマンド配信による粗利益率向上

売上総利益率
Up

各事業での**自動化/AI化・フレームワーク採用による粗利益率向上**

売上総利益率
Up

サイバーセキュリティ教育カンパニーとしての強みを活かし
地方都市を中心にデリバリーパートナー企業を育成
固定人件費を膨らませずにサービス提供のリソースを充足

販管費率
Down

販売パートナーの拡大、セキュリティ業界各社との連携による
効率的な販売活動を実現

※既存事業での中期経営計画であり、新規事業等の影響は織り込んでおりません。

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 31

中期数値目標が実現できる理由は、中堅・中小企業様のセキュリティ対策ニーズに加え、IT企業様やSler様のセキュリティニーズ、人材育成ニーズが引き続き旺盛だと考えているためです。

サイバーセキュリティ対策に関するサービスを当社がフルラインナップで持っており、そこにアップセル、クロスセルを徹底しておりますので、全事業が満遍なく成長いたします。例えば教育だけ、セキュリティソリューションだけが伸びていくのではなく、全事業がアップセル、クロスセルを徹底しフルラインナップで持っているからこそ伸びていくことがポイントになっております。

営業利益率の向上に関しては、教育コンテンツをオンライン・オンデマンド化していくことや、各事業で自動化・AI化、フレームワーク採用などにより、売上総利益率を向上していきます。

また、セキュリティ教育会社として、地方都市を中心にデリバリーパートナー企業を育成し、固定人件費を膨らませずにサービス提供リソースを確保し、場合によっては資本提携をしながら、軍団として強くなっていきたいと考えています。

販管費率を下げる策としては、販売パートナー様を増やしていくことで実現していきます。サイバーセキュリティイニシアティブジャパンでの取組み、ブロードバンドセキュリティ社への出資など、同業界での連携を増やしています。各社との役割分担によって効率的に仕事が行われる仕組みをつくれた結果、売上高と営業利益が上昇すると考えております。

31

IRサイト

当社HPのIRサイトでは、株主・投資家の皆様へ積極的に情報を発信しております。ぜひご覧ください。

<https://www.gsx.co.jp/ir/>



最後にESGへの取組みをお話いたします。



ESGの取組み

GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

持続可能な社会の実現と企業価値向上の両立を
目指し、ESG/SDGsに積極的に取り組みます。

インターネット社会において、サイバーセキュリティの脅威は、人々の命や生活をもおびやかす重要な社会課題のひとつです。またそれらを解決できるサイバーセキュリティ人材が圧倒的に不足しています。当社は「サイバーセキュリティ教育カンパニー」として事業を通して誰もが安心して暮らせる豊かな社会の実現を目指します。

E Environment

- 「気候変動イニシアティブ (JCI: Japan Climate Initiative)」に参加
- BBSグループ温室効果ガス削減目標 (Scope1+2) は、2030年度温室効果ガス排出量30%削減 (2019年度比)、2050年度にはグループの温室効果ガス排出量ネットゼロを目指す
- ペーパーレスの推進



S Social

- 人権を尊重する取り組みを推進
- 人材育成、働きやすい環境づくり
- ダイバーシティ&インクルージョンの推進
- 健康・安全への取り組み
- 地方創生・雇用創出



G Governance

- コーポレート・ガバナンス強化
- コンプライアンスの遵守
- リスク管理への取組み
- 各種通報窓口の設置
- ステークホルダー・エンゲージメント強化



© GLOBAL SECURITY EXPERTS 33

現在の取り組みは、ご覧の通りです。

来期はさらに議論を活発に行い、定量的な目標を持って、各取り組みに対する進捗状況などをお話しできればと考えております。

本日はご視聴いただきましてありがとうございます。
今後とも当社をよろしく願いたします。



GSX
GLOBAL
SECURITY
EXPERTS

事業内容



グローバルセキュリティエキスパートとは

GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

日本全国の企業の自衛力向上を目指し、セキュリティ業界全域で事業を展開する

サイバーセキュリティ教育カンパニー

— Purpose —

全ての企業をセキュリティ脅威から護る
そのために必要なことを惜しげもなくお伝えする

— Mission —

日本全国の企業の自衛力を向上すること

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 35

IRサイト

当社HPのIRサイトでは、株主・投資家の皆様へ積極的に情報を発信しております。ぜひご覧ください。
<https://www.gsx.co.jp/ir/>



事業ドメイン GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

コンサルティング事業

- ✓ コンサルティングサービス
- ✓ 脆弱性診断サービス
(タイガーチームサービス)

教育事業

- ✓ セキュリティ訓練サービス
- ✓ セキュリティ教育講座

ITソリューション事業※

- ✓ ITインフラ構築
- ✓ バイリンガルSESサービス
など

※事業譲受により2021/3期から開始

セキュリティソリューション事業

- ✓ セキュリティ製品の導入
- ✓ 運用サービスなど


日本全国の企業の
セキュリティレベル向上を
支援する

4つの事業ドメイン
を展開

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 36



事業内容： **教育事業**



教育事業では、企業向けの「セキュリティ訓練サービス」とエンジニア向けの「セキュリティ教育講座」を主力サービスとして展開


企業向け

セキュリティ訓練サービス | **47%** 事業内
売上高構成比
(22/3期)

従業員へのセキュリティ意識向上

組織内報告・初動フロー確立

主力サービス
標的型メール訓練サービス



トラップメール
GSX 標的型メール訓練サービス®

OEM供給を含み
**トップ
シェア**
※1

累計導入社数
11,000社
以上

最も多い料金事例： 1回訓練パック 1001-2000アドレス 訓練1回+報告書 105万円
2回訓練パック 501-1000アドレス 訓練2回+報告書 101万円

出所※1： ITR「ITR Market View：サイバーセキュリティ・コンサルティングサービス市場2021」標的型攻撃メール訓練サービス市場 - 従業員1,000～5,000人未満：ベンダー別売上金額シェア（2019～2021年度予測）
標的型攻撃メール訓練サービス市場 - 従業員：ベンダー別売上金額シェア（2019～2021年度予測）
標的型攻撃メール訓練サービス市場 - 建設業：ベンダー別売上金額シェア（2020～2021年度予測）

エンジニア向け


セキュリティ教育講座 | **53%** 事業内
売上高構成比
(22/3期)

エンジニアのセキュリティ水準向上

高度なセキュリティ人材の増加

主力サービス
IT人材/非セキュリティ人材向け教育メニュー

当社
オリジナル



累計受講者数 4,004名
(22/12未時点)


認定Webアプリケーション脆弱性診断士
受講料金：22万円

セキュアWebアプリケーション設計士
受講料金：13.2万円

認定ネットワーク脆弱性診断士
受講料金：22万円


ゼロトラストコーディネーター
受講料金：8.8万円

セキュリティ人材向け教育メニュー




国際的なセキュリティ資格
累計受講者数 3,492名
(22/12未時点)

主なコース例



認定ネットワーク
ディフェンダー



認定ホワイトハッカー

受講料金


約32万円

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 37



事業内容： コンサルティング事業

コンサルティング事業では、セキュリティ実装の上流工程を支援する多様な「コンサルティングサービス」と「脆弱性診断サービス」を提供
サイバーセキュリティ市場において、中堅・中小企業を対象とした専門的なセキュリティコンサルティングサービスは、希少性が高い




事業内容

コンサルティング事業

コンサルティングサービス
(マネジメントコンサルティング)

51%

調査・分析、アセスメント、
体制整備などを
ワンストップで提供



脆弱性診断サービス
(タイガーチームサービス)

49%

自社ホワイトハッカーによる
幅広い脆弱性診断を提供

事業内
売上高構成比
(22/3期)

↓

→ 顧客送客の流れ

↓

セキュリティソリューション事業

コンサルティングサービス（マネジメントコンサルティング）

課題可視化

→

計画策定

→

体制構築

—主なサービス—


情報セキュリティ改善計画策定

管理体制整備支援


システム監査・セキュリティ監査

インシデント対応訓練サービス


脆弱性診断サービス（タイガーチームサービス）




設計書レビュー




プラットフォーム診断



IoTセキュリティ診断



スマホアプリセキュリティ診断



Webアプリケーション診断

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 38

IRサイト


当社HPのIRサイトでは、株主・投資家の皆様へ積極的に情報を発信しております。ぜひご覧ください。
<https://www.gsx.co.jp/ir/>

38

事業内容： セキュリティソリューション事業 ITソリューション事業

セキュリティソリューション事業では、汎用的なセキュリティ製品に加え、高度なセキュリティの知見が必要な製品をラインナップとして揃え、中堅・中小企業向けの運用サービスなど、多様なセキュリティ製品導入・運用ニーズに対応

ITソリューション事業では、ITインフラ構築を中心にバイリンガルSESサービスなどセキュリティ周辺領域でのサービスを展開



事業内容


コンサルティング事業

セキュリティソリューション事業


- 製品導入
- 運用サービス
- 緊急対応

ITソリューション事業

- インフラ構築
- システム開発
- バイリンガルSESサービス



ストック売上^{※1}
比率

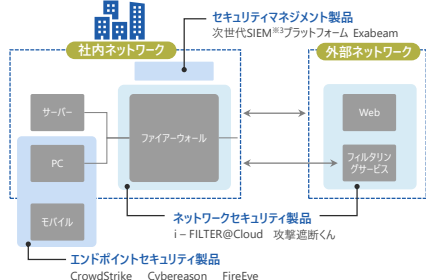


継続売上^{※1}
比率

注釈 ※1：ストック売上は、運用・保守、ソフトウェアサブスクリプションを含む
継続売上は、運用・保守・SESサービスを含む

セキュリティソリューション事業の主要製品^{※2}およびサービス

社内ネットワーク



セキュリティマネジメント製品
次世代SIEM^{※3}プラットフォーム Exabeam

ネットワークセキュリティ製品
i-FILTER@Cloud 攻撃遮断くん

エンドポイントセキュリティ製品
CrowdStrike Cybereason FireEye

レッドチーム評価サービス

お客様ネットワークのセキュリティ対策が、標的型攻撃に対してどの程度対応検出や遮断できるのかを、仮想的なマルウェアや攻撃を用いて診断

緊急対応サービス

IT環境におけるセキュリティインシデント対応を支援

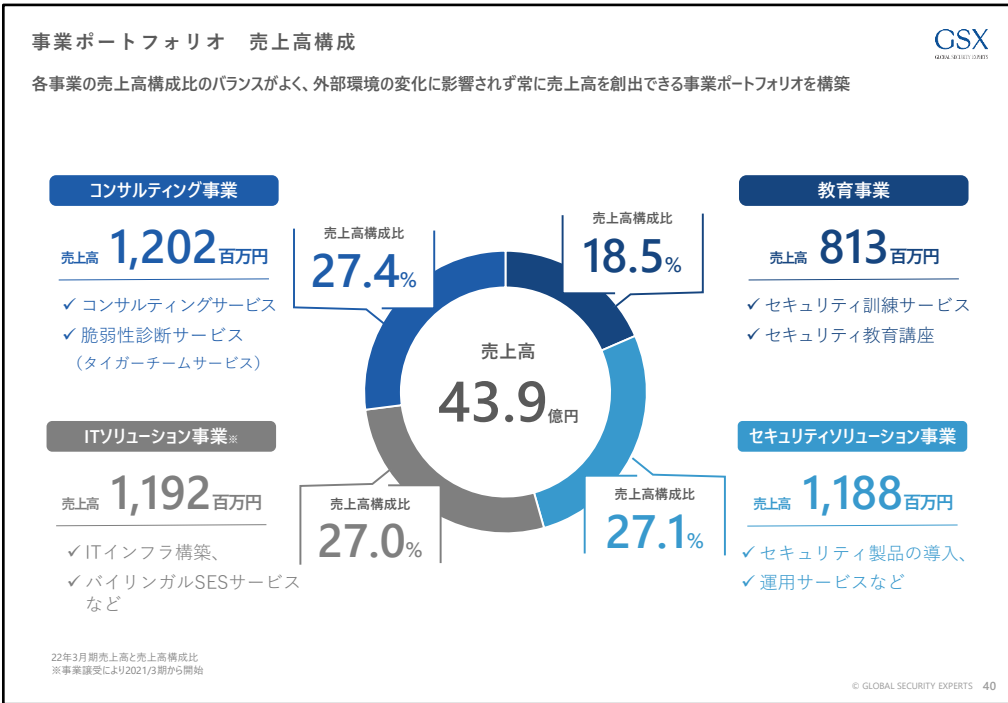
注釈 ※2：主要製品は他社製品
注釈 ※3：Security Information and Event Managementの略称（セキュリティログ管理）

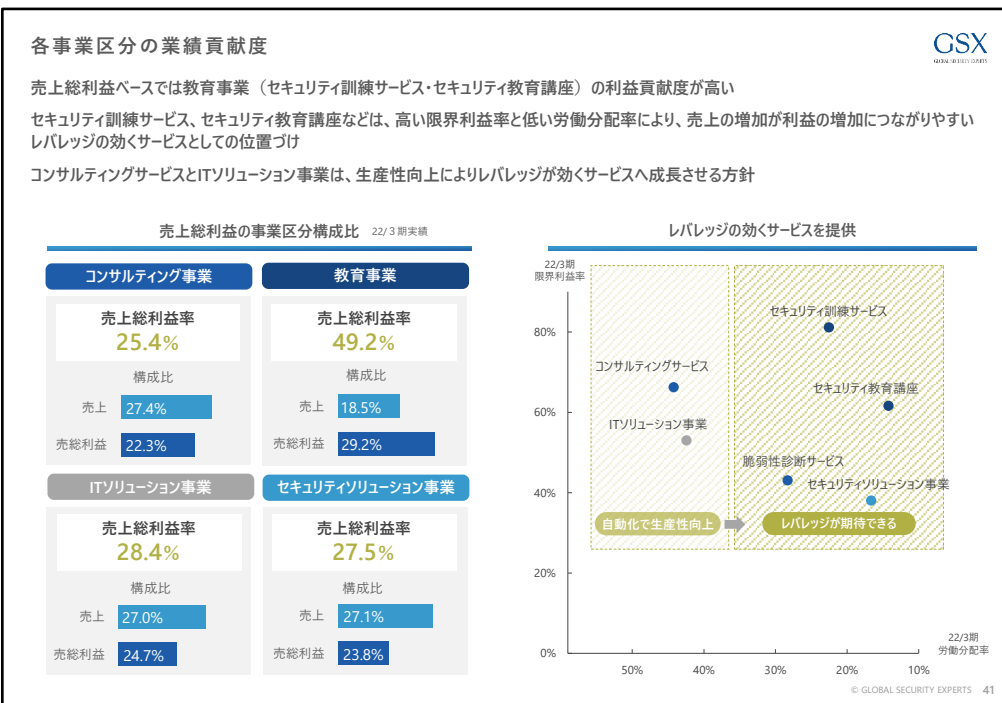
© GLOBAL SECURITY EXPERTS 39

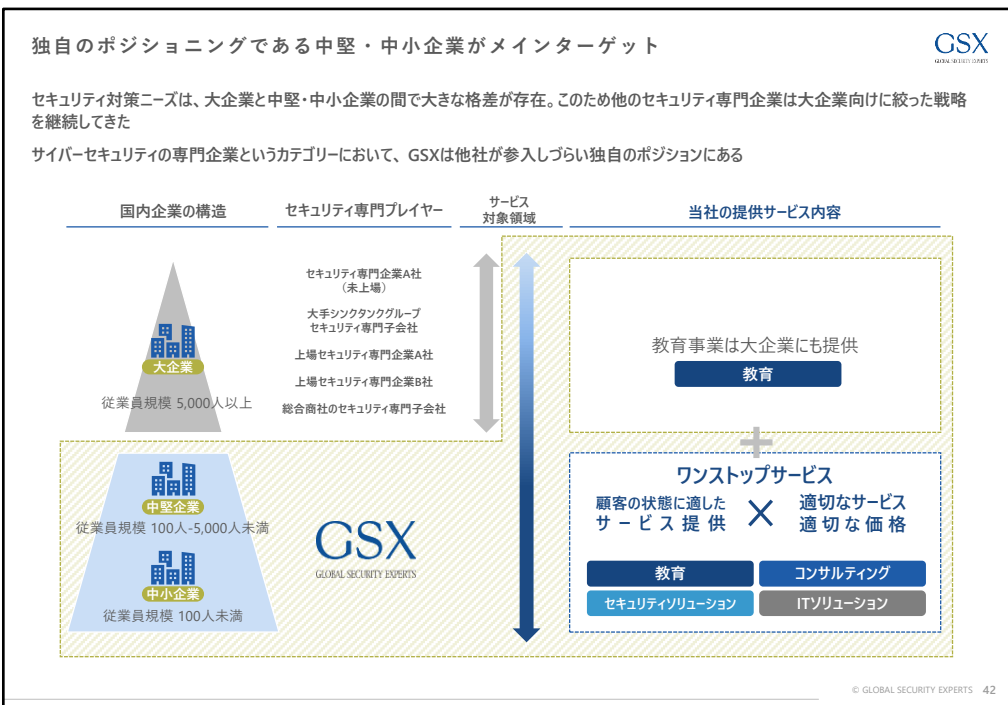
39

IRサイト

当社HPのIRサイトでは、株主・投資家の皆様へ積極的に情報を発信しております。ぜひご覧ください。
<https://www.gsx.co.jp/ir/>








セキュリティニーズの違いとサービスの最適化 GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

大企業が「脅威を完全に排除」するためのセキュリティ対策を求めるのに対し、中堅・中小企業は取引先に対してのレピュテーションリスク排除や自社の業態に適合させた必要最低限のセキュリティ対策を求める

当社は豊富なセキュリティノウハウを蓄積していることで、実効性を保ちながら中堅・中小企業が求める水準へサービスの最適化ができる

企業別のニーズと提供プレイヤー		中堅・中小企業向けにセキュリティサービスの最適化	
	大企業	中堅・中小企業	
主な企業ニーズ	セキュリティ脅威の完全排除	セキュリティの監査証明 自社にとって危険な脅威の排除	
求めるサービス	フルカスタム コンサルティングサービス	ライトコンサルティングサービス (必要なサービスのパッケージ)	
提供プレイヤー	大手シンクタンクグループ セキュリティ専門子会社 セキュリティ専門企業A社(未上場) 総合商社のセキュリティ専門子会社 上場セキュリティ専門企業A社 上場セキュリティ専門企業B社	 GLOBAL SECURITY EXPERTS	

コンサルティング事業
セキュリティアセスメント

フルカスタムオーダーメイドアセスメント

↓ フルカスタム ↓ 要件多数 ↓

大企業

GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

クイックアセスメント

↓ 実績に基づくテンプレート提供 ↓ ノウハウ提供 ↓

中堅・中小企業

セキュリティソリューション事業
監視サービス

セキュリティオペレーションセンター

↓ 24h監視 ↓ レポートニング ↓

大企業

GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

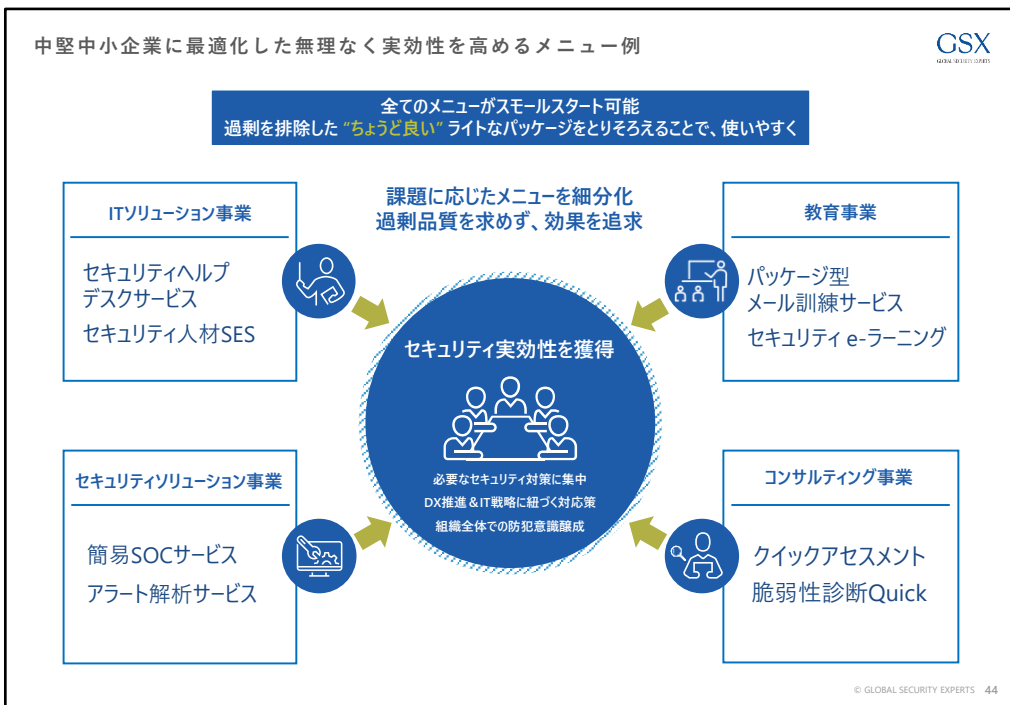
MDR

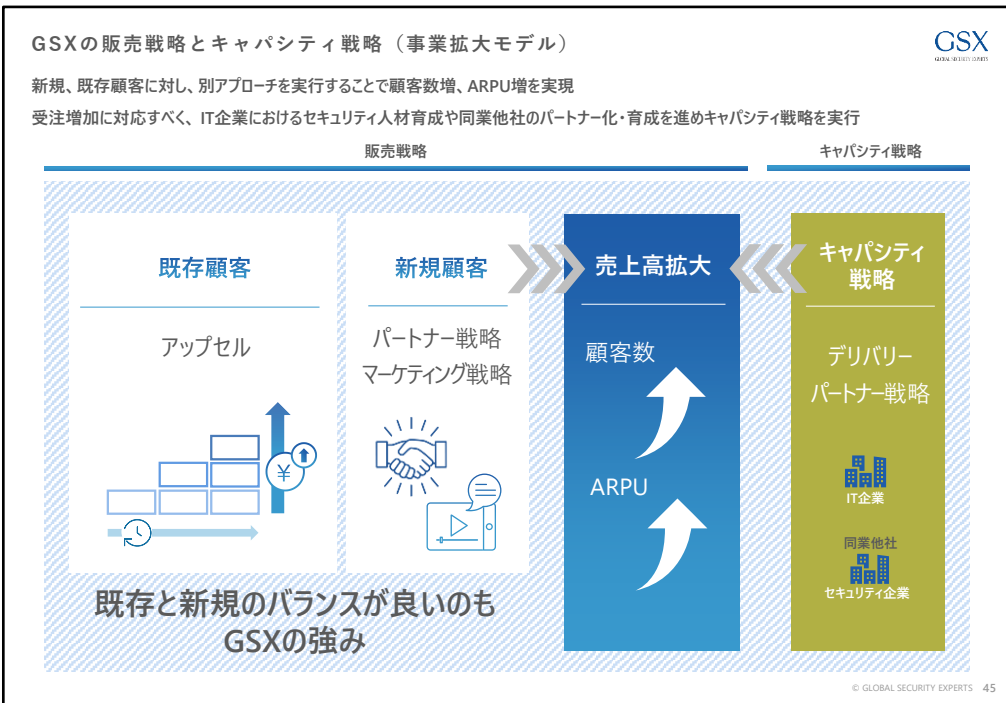
↓ 24h監視 ↓ レポートニング ↓

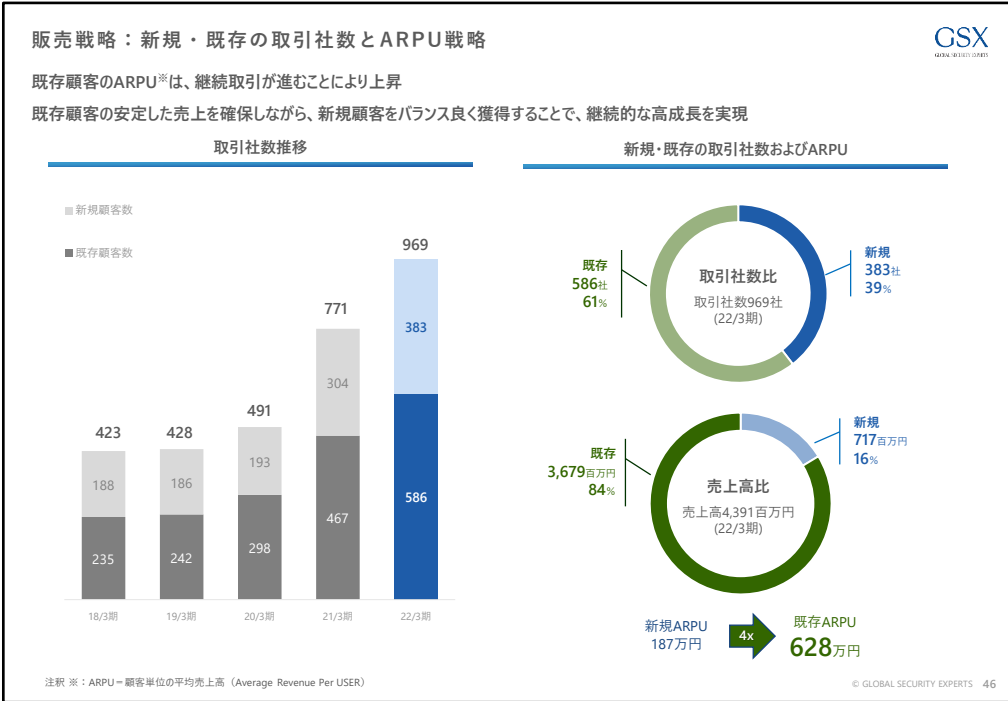
中堅・中小企業

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 43









販売戦略 既存顧客：アップセル/クロスセル

多面的なサービス提供によってクロスセル・アップセルを実現。既存顧客のARPU[※]は、新規顧客に比べて高く、継続取引が進むことで効率的な事業拡大を実現



事業シナジーを活かした効率的な事業拡大

多角的なサポートを継続的に提供し、
中長期的な取引サイクルを構築

システム運用と事故対応
例：フォレンジック調査など



プロセスを網羅しているからできるクロスセル/アップセル

セキュリティ対策に必要な全プロセスを提供しているため
入り口を多彩に構えられ、かつ、次の工程を獲得できる。

教育

アセスメント

組織構築・
改革

システム導
入・運用

<p> ランサムウェア対策</p> <p>初回受注</p> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px 10px; margin: 5px 0;">インシデント対応</div>	<p>クロスセル/アップセル</p> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px 10px; margin: 5px 0;">EDR導入</div>
<p> 組織力強化</p> <p>初回受注</p> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px 10px; margin: 5px 0;">アセスメント</div>	<p>クロスセル/アップセル</p> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px 10px; margin: 5px 0;">CSIRT構築・訓練</div>
<p> 診断内製化</p> <p>初回受注</p> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px 10px; margin: 5px 0;">脆弱性診断</div>	<p>クロスセル/アップセル</p> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px 10px; margin: 5px 0;">教育講座：SecuriST</div>

注釈 ※：ARPU＝顧客単位の平均売上高（Average Revenue Per USER）

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 47



販売戦略：日本全国のIT企業の販売パートナー化



IT企業が持つ顧客基盤とプレゼンスを活用して、ホワイトスペースとなっていた市場を開拓

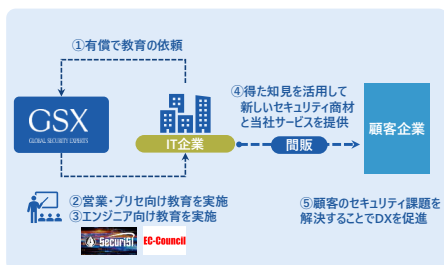
当社とパートナーになることで、IT企業は自社製品・サービスとのシナジーでセキュリティビジネスやDX関連ビジネスの拡大に繋げられる

GSXの販売パートナーになるメリット

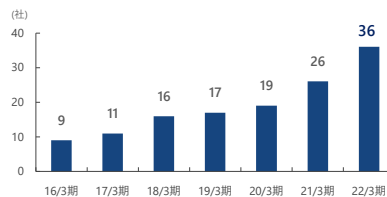
IT企業のニーズ

- DX推進において必要となる新しいセキュリティ商材[※]は単純販売が難しい
- これらを自社で拡販できるよう社員を教育してセキュリティビジネスを伸ばし、セキュリティをフックとしてさらにDX関連ビジネス（主要事業であるSI）も伸ばさせたい

※ゼロトラストやマルチクラウドなどの分野



販売パートナー数の推移と全国的拡大



© GLOBAL SECURITY EXPERTS 48



販売戦略 新規顧客：デジタルマーケティング戦略強化

新規顧客獲得については受注に繋がるデジタルマーケティング施策を実行し、質の高いリードを獲得できるよう効率的・効果的なデジタルマーケティング中心に移行

デジタルマーケティング各分野においてセキュリティに強い媒体を選び、動画などを活用したデジタルマーケティング施策を実行





第三者に示すことができるようになりました

デジタルマーケティング強化



NewsTV



YouTube



Facebook



Twitter

NEWS TV わずか1年で受講者3倍！
GSXのサイバーセキュリティ教育の魅力とは

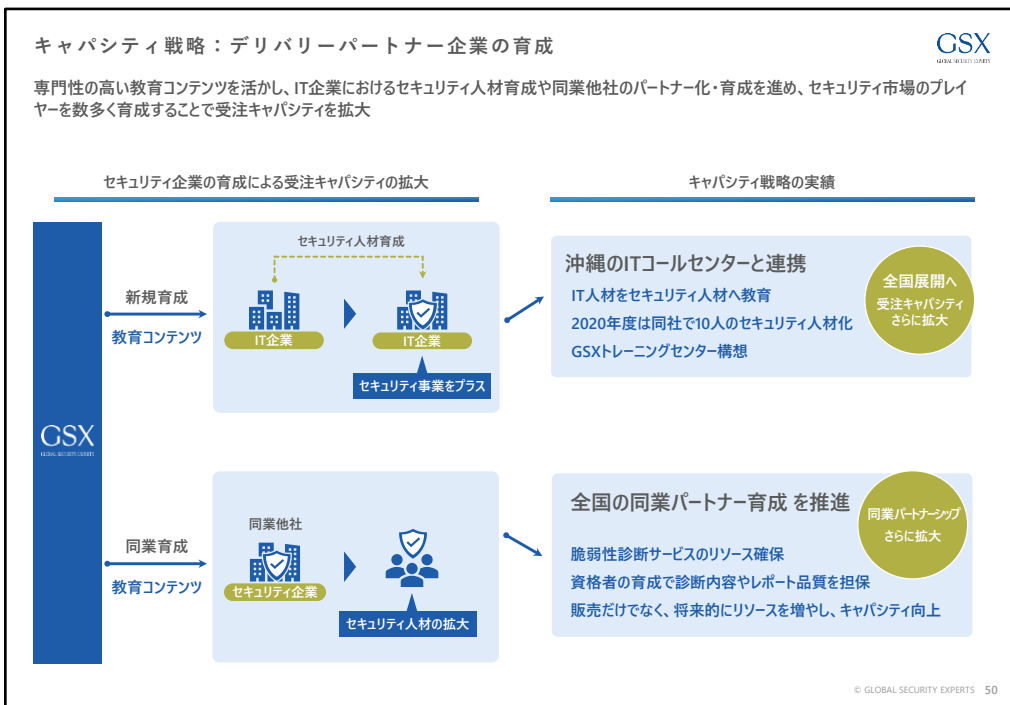







© GLOBAL SECURITY EXPERTS 49





GSX
GLOBAL
SECURITY
EXPERTS

Appendix



会社概要



(株)ビジネスブレイン太田昭和を親会社として、サイバーセキュリティの黎明期に設立したサイバーセキュリティ専門企業
教育事業、コンサルティング事業、セキュリティソリューション事業、ITソリューション事業の4つの事業を展開

会社概要		役員一覧	
会社名	グローバルセキュリティエキスパート株式会社	代表取締役社長	青柳 史郎
設立	2000年4月 ^{※1}	代表取締役副社長	原 伸一
代表者	代表取締役社長 青柳 史郎	常務取締役	与儀 大輔
資本金	502百万円 ※22/12末	取締役	吉見 主税
事業内容	情報セキュリティ・サイバーセキュリティの実装・運用支援をワンストップで提供する「コンサルティング事業」「ソリューション事業」と企業のセキュリティ水準向上を内面から支援する「教育事業」を展開	取締役	三木 剛
事業セグメント	サイバーセキュリティ事業（単一）	取締役	近藤 社一
従業員数	132名 ※22/12末	取締役	岡田 幸憲
主要株主	(株)ビジネスブレイン太田昭和 兼松エレクトロニクス(株) (株)野村総合研究所	取締役	上野 宣
		取締役（監査等委員）	井上 純二
		取締役（監査等委員）	古谷 伸太郎
		取締役（監査等委員）	水谷 繁幸

注釈 ※1：グローバルセキュリティエキスパートへの商号変更日も設立日として記載

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 52



マネジメントメンバー

GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

代表取締役社長

青柳 史郎

Shiro Aoyagi

1998年 4月 : 株式会社コンフォメーションテクノロジー (現株式会社ユニタ) 入社
 2009年 1月 : 株式会社クラウドテクノロジー取締役セキュリティ事業本部長
 2012年 3月 : 当社入社
 2012年10月 : 当社 事業開発部長
 2014年 6月 : 当社 執行役員営業本部長
 2017年 4月 : 当社 取締役経営企画本部長
 2018年 4月 : 当社 代表取締役社長 (現任)



常務取締役

与儀 大輔

Daisuke Yogi

1994年 4月 : 横河電機株式会社 入社
 2007年 8月 : 株式会社株ラック 入社
 2012年12月 : 株式会社株野村総合研究所 入社
 NRIセキュリティソリューションズ株式会社 出向 営業推進部マネージャー
 2020年4月 : 同社出向 事業企画本部 事業戦略部 担当部長
 2020年10月 : 当社 常務取締役 (現任)



取締役

吉見 主税

Chikara Yoshimi

2005年 5月 : 株式会社バシユ (現 株式会社EPコンサルティングサービス) 入社
 2008年12月 : 同社 ITソリューション事業部セールスマネージャー
 2016年 4月 : 同社 ITソリューション事業部長
 2016年 6月 : 同社 取締役 ITソリューション事業部長
 2020年 4月 : 当社 取締役 ITソリューション事業本部長
 2021年 4月 : 当社 取締役 (現任)



代表取締役副社長

原 伸一

Shinichi Hara

1991年 4月 : 株式会社アマダメトロックス (現株式会社アマダ) 入社
 2000年 4月 : 株式会社アマダメトロックス代表取締役
 2012年 4月 : 株式会社スタートコム株式会社取締役
 2018年 4月 : 当社入社 執行役員副社長兼経営企画本部長
 2018年 6月 : 当社 代表取締役副社長 (現任)



取締役 西日本支社長

三木 剛

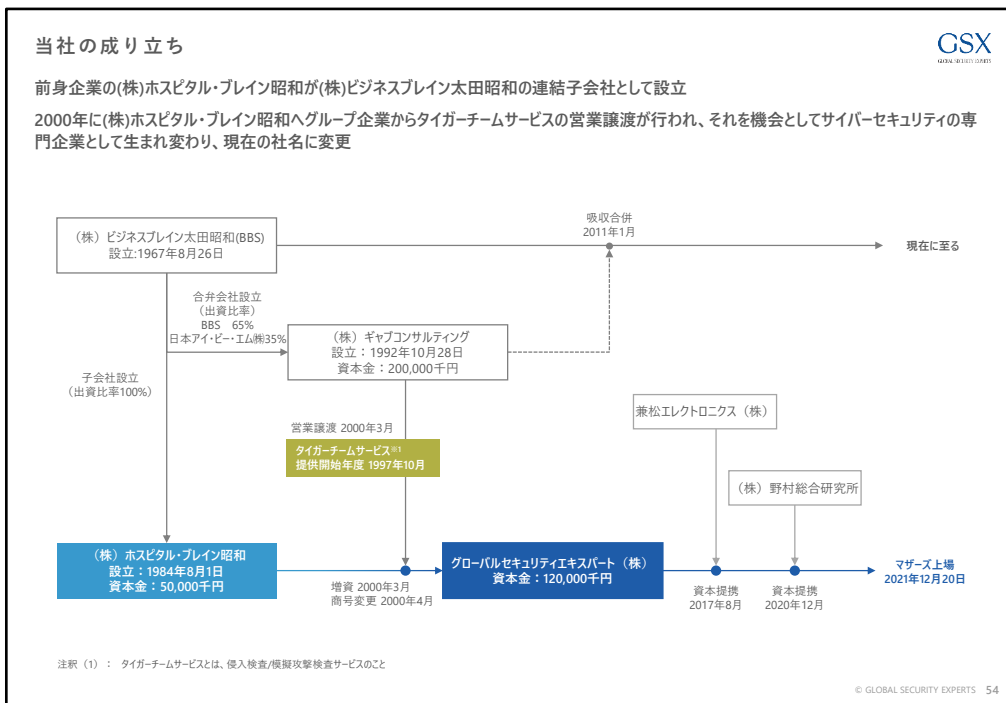
Tsuyoshi Miki

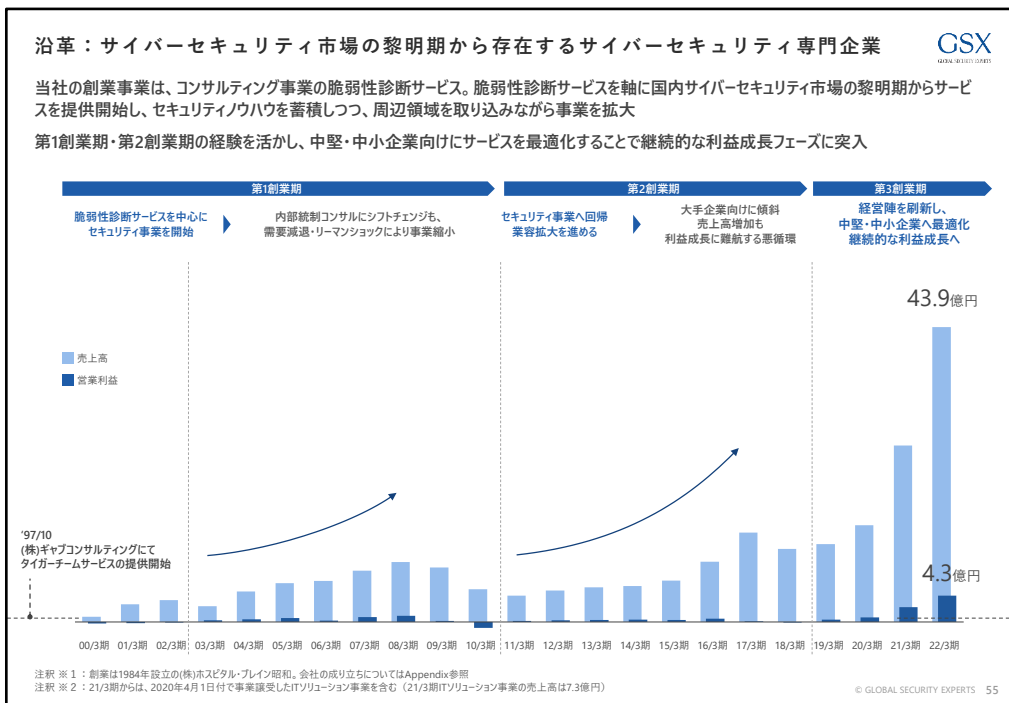
2005年10月 : 株式会社株神戸デジタルラボ 入社
 2008年10月 : 同社 営業部長
 2011年10月 : 同社 執行役員 セキュリティソリューション事業部長
 2013年10月 : 同社 取締役 サービス推進本部長 兼 セキュリティソリューション事業部長
 2019年 8月 : 当社入社
 2019年10月 : 当社 西日本支社長
 2020年 4月 : 当社 取締役 西日本支社長 (現任)

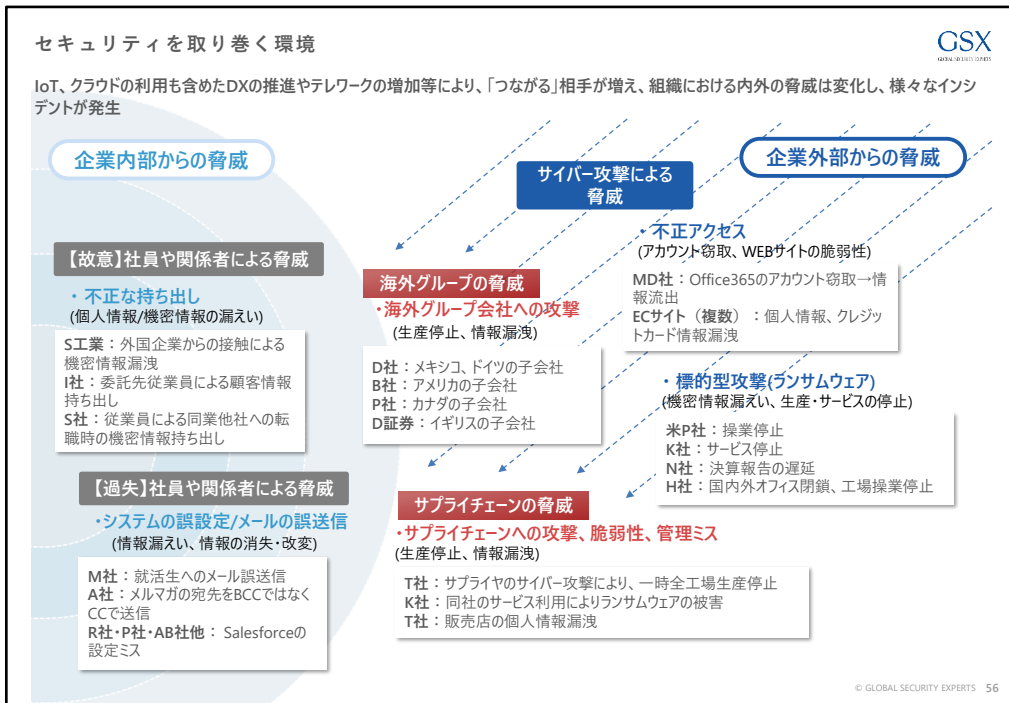


© GLOBAL SECURITY EXPERTS 53







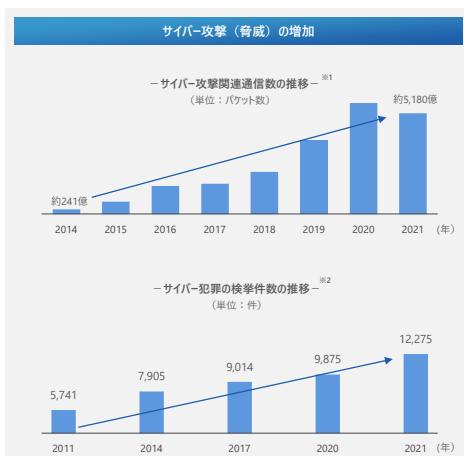


国内サイバーセキュリティ市場を取り巻く市場環境

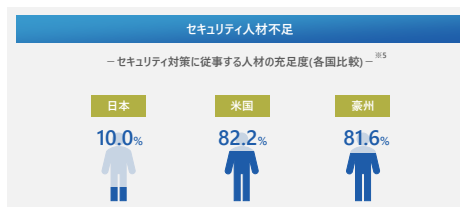
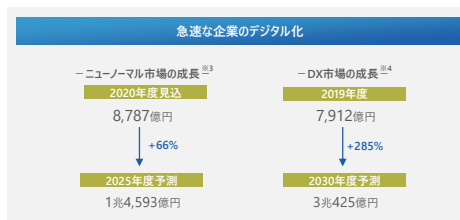
GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

サイバーセキュリティ市場では、対策需要が増加。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う企業の急速なデジタル化の進展が同市場の成長への追い風。一方で、未曾有のセキュリティ人材不足が課題

この市場環境の中で、セキュリティ教育やセキュリティ実装の上流から下流までワンストップで展開する当社へのニーズが高まっている



出所 ※1：国立研究開発法人情報通信研究機構[NICTER観測レポート2021]
出所 ※2：「サイバー空間をめぐる脅威の情勢等について」（警察庁）
https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/R03_kami_cyber_jousei.pdf
https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/h26_jousei.pdf



出所 ※3：富士キメラ総研「After/With COVIDで加速するニューノーマル時代のICT変革ソリューション市場」
出所 ※4：富士キメラ総研「2020 デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望」
出所 ※5：「企業における情報セキュリティ実態調査2020」NRIセキュアテクノロジーズ

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 57





財務ハイライト

GSX
gsx-01111.com

決算期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期
売上高 (千円)	1,221,700	1,302,976	1,616,613	2,948,871	4,391,317
経常利益 (千円)	△10,348	37,096	73,103	239,370	414,331
当期純利益 (千円)	△10,470	28,024	38,658	167,657	261,099
資本金 (千円)	100,000	100,000	270,000	291,800	485,000
発行済株式数 (株)	5,400	5,400	10,000	10,590	3,327,000
純資産額 (千円)	350,936	378,960	736,113	942,201	1,565,478
総資産額 (千円)	871,996	956,504	1,712,769	2,384,273	3,482,070
1株当たり純資産額 (円)	64,988.24	70,177.92	245.37	296.57	470.54
1株当たり配当額 (円)	-	800	500	2,900	15
1株当たり当期純利益 (円)	△1,938.91	5,189.68	14.56	54.70	80.91
自己資本比率 (%)	40.25	39.62	42.98	39.52	44.96
自己資本利益率 (%)	-	7.68	6.93	19.98	20.82
配当性向 (%)	-	15.42	11.45	17.67	18.5
営業キャッシュフロー (千円)	-	-	△284,882	767,002	328,219
投資キャッシュフロー (千円)	-	-	△76,692	△240,397	△294,649
財務キャッシュフロー (千円)	-	-	387,400	△91,241	460,634
現金及び現金同等物の期末残高 (千円)	-	-	216,959	652,324	1,146,528
従業員数 (人)	60	64	75	110	118

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 59



ご留意事項



本資料は、グローバルセキュリティエキスパート株式会社の決算、事業内容および業界動向について、グローバルセキュリティエキスパート株式会社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。

既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。

グローバルセキュリティエキスパート株式会社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、作成時点において利用可能な情報に基づいてグローバルセキュリティエキスパート株式会社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

また、監査法人による監査を受けていない数値が一部含まれていますが、参考数値として記載しています。

© GLOBAL SECURITY EXPERTS 60



GSX
GLOBAL
SECURITY
EXPERTS

